

● 前回の課題の答え ●

P27

③

26cm のとき  $5 \times 26 = 130$   $130 \text{ cm}^2$

27cm のとき  $5 \times 27 = 135$   $135 \text{ cm}^2$

28cm のとき  $5 \times 28 = 140$   $140 \text{ cm}^2$

④

$5 \times 7.5 = 37.5$   $37.5 \text{ cm}^2$

→  $x$  が小数のときもあるよ!

①

①  $180 \times x + 250$

② 5個のとき

$180 \times 5 + 250 = 900 + 250$   
 $= 1150$   $1150 \text{ 円}$

12個のとき

$180 \times 12 + 250 = 2160 + 250$   
 $= 2410$   $2410 \text{ 円}$

4/

② 円の直径の長さ、円周の長さの関係を表す式を書きましょう。

直径が	直径の長さ	$\times$ 円周率	=	円周の長さ
1 cm のとき	1	$\times 3.14$	=	3.14
2 cm のとき	2	$\times 3.14$	=	6.28
3 cm のとき	3	$\times 3.14$	=	9.42
⋮	⋮			⋮

いつも一定で変わらない数は、円周率。(3.14)

いろいろと変わる数は、直径の長さ と 円周の長さ。  
(1, 2, 3, ...) (3.14, 6.28, 9.42...)

直径が □ cm のとき □  $\times$  3.14 = ○

いろいろと変わる数の表し方

これまでは □  $\rightarrow$  これから  $x$

これまでは ○  $\rightarrow$  これから  $y$

71

これがノックだけ  
前の時間は

二つ目

二つ目

$x$  cm のとき  $x \times 3.14 = y$  となる。

まとめ  
 $x$  や  $y$  などの文字を使うと、数量の関係を一つの式にまとめて表すことができる。

P28  
②  $x$  が 10 のとき  $10 \times 3.14 =$   
 $x$  が 15 のとき  
 $x$  が 20 のとき

$x$  にあてはめた数 10 を  $x$  の値、そのときの  $y$  の表す数 31.4 を、 $x$  の値 10 に対応する  $y$  の値という。

- ③
- ④
- ①
- ②
- ③
- ④

答を次回に!